

平素よりお世話になっております。

本件体調不良者の件につきまして、ご心配をおかけし申し訳ございません。

以下本日時点での最新情報共有と弊社としての追加対策を、共有させていただきます。

~~~~~

#### ① 状況概要

- 2026年2月初旬より、腹痛の症状を訴える学生の健康異常が確認され始めました。

- 発熱・下痢・嘔吐を伴うケースもあります。

#### ② データ

■ 累計健康異常者数（軽い咳・持病を含む現時点での推定）

- 約80～90名

初診・再診が混在しています。

ユニーク人数ではない可能性があります（重複の可能性あり）。

■ 総学生数

- 570名（2月1日～2月7日）

- 540名（2月8日～2月14日）

■ データ出所

校内提携医療機関「コトビアクリニック」より提供された診療情報をもとに算出。

#### ③ 症状の特徴

- 腹痛・下痢・嘔吐

- 高熱を伴うケースも確認

- 食後1～2時間以内に即時発症する典型的なパターンではなく、時間差があるケースが多い

● コトビアクリニックの所見

典型的な食中毒症状とは異なり、細菌性またはウイルス性の可能性が示唆されています。

・ 腸チフスと診断されたケースあり

- 経口感染

- 学校起因か外部起因かは断定不可

・ アメーバ赤痢と診断されたケースあり

- 経口感染

学校起因か外部起因かは断定不可

#### ④ 留意事項

- 今回の事案では、日本人学生に健康異常の報告が多い傾向があります。

他国籍は大きな変動はありません（ゼロではありません）。

- 校内のみで食事をしてきた台湾キャンプの小・中学生には発症者は確認されていません。

（2月13日（金）に帰国済み。）

- 在学中の韓国人大学生団体（日本人を含む）でも、多数発症は確認されていません。
  - 入学後1～2週間以内に腹痛や下痢を訴える学生は例年一定数存在します。
- これは年間を通じて新入生に見られるいわゆる「水・環境への適応症状（いわゆる水あたり）」の傾向と大きな差はありません。
- 仮に食事や水が単独原因であれば、国籍に関係なくより多くの発症があった可能性が高いと推測されます。

#### ⑥ これまでの学校側の対応

※現時点で原因は特定されていないため、予防的措置を段階的に実施しています。

2026年2月9日（月）

初期対応開始

キッチンへ情報共有および注意喚起

生野菜の提供を停止（加熱提供へ変更）

2026年2月12日（木）

飲料水業者の変更（アップグレード）決定

市販のミネラルウォーター無料配布開始（業者切替期間中の暫定措置）

2026年2月13日（金）・14日（土）

共用スペース・教室・エレベーターの消毒実施

2026年2月15日（日）

アルコール手指消毒液を追加設置

既存：ダイニング2か所

新設：レセプション、インフォデスク、ダイニング（追加2か所）、エレベーター内（6基それぞれに1台）

2026年2月16日（月）

エレベーター操作パネルおよびウォーターサーバーの定期アルコール消毒開始

手指接触部位からの感染予防

体調不良者へポカリスエット支給

2月20日（金・振替休日）ホリデークラス開講決定

体調不良により欠席した学生の補講としても機能

現在調整中

全ウォーターサーバーの交換予定

#### ⑦ 現時点での学校の見解

国籍の偏りを踏まえると、学校の食事または飲料水のみが単独原因と判断するには合理性に欠けている理由から、食中毒と断定できる状況ではありません。

学校は予防的措置および学生ケアを中心に対応を継続しています。

#### ⑧ 今後の対応

- 学生アンケートの実施（健康状態把握を目的）

→結果をもとに今後の対策を策定・実施予定

~~~~~

引き続き、学生の健康と安全を最優先に、慎重に状況を確認しながら必要な対策を講じてまいります。

改めまして、この度はご不便とご迷惑をおかけし申し訳ございません。